

登録日	2009.01.10
再登録日	2015.01.10

がん化学療法レジメン登録書

登録番号： 09-025

がん種/レジメン名				実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類	
EGFR 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 アービタックス療法				点滴静注	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌	
1クール 28日/クール				備考（最大投与回数等）			
Day	投与順	薬品名（成分名）	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1,8,15,22	1	デカドロン	6.6	mg	生理食塩液 50mL	15min	Div.
	2	クロールトリメトン	10	mg	生理食塩液 50mL	15min	Div.
	3	アービタックス	(初回)400	mg/m ²	生理食塩液 400mL	(初回)120min	Div.
	4		(2回目以降)250	mg/m ²	生理食塩液 250mL	(2回目以降)60min	Div.
					生理食塩液 50mL	60min	Div.

【投与開始基準】 ※大腸癌治療ガイドライン2014年版より

項目	基準値及び症状
白血球	≧3500/μL
血小板	≧100000/μL
T-Bil	<2.0mg/dL
AST 又は ALT	<100IU/L
血清クレアチニン	≦ULN
PS	0~2
重篤な合併症（特に、腸閉塞、下痢、発熱）	なし
EGFR	陽性

【投与量の減量基準】 ※アービタックス添付文書より

Grade3以上の皮膚症状発現で投与延期、Grade2以下まで回復しなければ投与中止
・初回発現時・・・投与延期→Grade2以下に回復した場合は250mg/m ² で投与継続
・2回目発現時・・・投与延期→Grade2以下に回復した場合は200mg/m ² で投与継続
・3回目発現時・・・投与延期→Grade2以下に回復した場合は150mg/m ² で投与継続
・4回目発現時・・・投与中止

【投与量の増量基準】

・なし

【特に注意すべき副作用と対策】

infusion reaction・・・アービタックス投与後、少なくとも1時間は経過観察
※発現時の対応
・Grade1~2→アービタックスの投与速度を減速し、その後の投与においても減速した投与速度で投与（減速後に再度症状発現した際は、直ちに投与を中止し、再投与は不可）
・Grade3以上→アービタックスの投与を直ちに中止し、再投与は不可
皮膚症状・・・保湿剤による予防、症状出現時は投与延期及び減量もしくは中止、ステロイド外用剤、ミノマイシン内服等（当院での取り決め）